2021年度　経営者フォーラム

2021年12月10日（金）QCサークル関東支部では経営者フォーラムを会場＋リモートのハイブリッド形式で開催しました。

経営者フォーラムは、ＱＣサークル活動（小集団改善活動）の裾野を広げ、活性化を図ることを目的として、経営者層・管理者層の方を対象に隔年開催しております。（昨年開催予定なるも、新型コロナの影響での中止により本年度にシフト）

今年度は、デミング賞を受賞されましたアート金属工業(株)様、および、サービス業（ビジネスプロセスアウトソーシング：BPO）として(株)ＴＭＪ様に、実務に密着した推進事例をその経営層の方々から紹介いただきました。さらにご講演、ご紹介いただいた内容を基に、QCサークル活動(小集団改善活動)・TQMに取組む意義や経営者・管理者の役割、中小規模の組織、多様な職場での推進などについてパネルディスカッションを行いました。【参加者52名：会場 18名 リモート 34名】

プログラム

プログラム		
15:00～15:05	開会・ 主催者挨拶	QCサークル関東支部 支部長　正井 健太郎
15:05～15:35	講演１	「原点回帰による全員参加のQCC活動」　～将来に向けた人づくりと組織能力の強化へ～ アート金属工業株式会社　取締役　大友政人氏
15:35～16:05	講演２	BPO事業におけるQC サークル活動顧客への「提供価値の向上」に根ざした「小さな改善」活動 株式会社TMJ 管理統括本部 人事基盤本部 本部長 木下哲氏
16:05～16:25	改善事例紹介	ﾉｰﾄﾌﾛﾝﾄﾒﾝﾊﾞｰﾗｲﾝ JPH(時間当たり出来高)24台へ 3班2交替回避への挑戦 ～係・課の枠を超えた改善で、目標達成を実現！～ 日産自動車(株)　ヨシダーズサークル様
16:25～16:35	休憩	
16:35～17:25	パネル ディスカッション	コーディネイター　QCサークル関東支部 世話人　中條 武志 パネラー　アート金属工業株式会社　大友政人氏 株式会社TMJ　木下　哲氏 ＱＣサークル本部幹事長　山ノ川孝二氏） 埼玉地区名誉世話人　安藤之裕氏 論点：・QCサークル活動(小集団改善活動)･TQMに取組む意義 ・QCサークル活動(小集団改善活動)･TQMの推進における経営者･管理者の役割 ・中小規模の組織、多様な職場での推進の難しさと克服策 ・推進におけるQCサークル地区活動のメリット
17:25～17:30	ご所感	一般財団法人日本科学技術連盟 専務理事・事務局長 中島 宣彦 氏
17:30～17:35	閉会挨拶	QCサークル関東支部 副支部長　田村 博

開会挨拶

正井 健太郎支部長

閉会挨拶

田村 博 副支部長

ご所感

日本科学技術連盟
専務理事・事務局長
中島 宣彦 氏

講演１

「原点回帰による全員参加のQCC活動」
～将来に向けた人づくりと組織能力の強化へ～
アート金属工業株式会社　大友政人氏

講演２

BPO事業におけるQC サークル活動顧客への
「提供価値の向上」に根ざした「小さな改善」活動
株式会社TMJ　木下哲氏

改善事例発表

ﾉｰﾄﾌﾛﾝﾄﾒﾝﾊﾞｰﾗｲﾝ JPH(時間当たり出来高)24台へ
3班2交替回避への挑戦
～係・課の枠を超えた改善で、目標達成を実現！～
日産自動車株式会社　ヨシダーズサークル様

会場風景（改善事例発表）

パネルディスカッション

コーディネイター：　QCサークル関東支部 世話人　中條 武志
パネラー：大友政人氏（アート金属工業株式会社）
木下哲氏（株式会社TMJ）
山ノ川孝二氏（QCサークル本部幹事長）
安藤之裕氏（埼玉地区名誉世話人）

論点：
- QCサークル活動(小集団改善活動)・TQMに取組む意義
- QCサークル活動(小集団改善活動)・TQMの推進における経営者・管理者の役割
- 中小規模の組織、多様な職場での推進の難しさと克服策
- 推進におけるQCサークル地区活動のメリット